



富士宮市立大宮小学校 学校だより

学校教育目標 いい笑顔 輝く瞳 光る汗

令和3年 12月5日 発行

令和3年度 12月号

節目にふりかえる

校長 水村 裕子

2021年最後の月、12月に入りました。緊急事態宣言中にスタートし、感染症予防対策を講じながらの2学期でしたが、ここまで無事に教育活動を進めることができましたのも、子供たちや教職員の努力と、保護者や地域の皆様の御理解と御協力があったからこそです。改めて感謝申し上げます。

さて、このような節目を迎える時に行うことに「まとめと振り返り」があります。1時間の授業でも行います。12月の各学年だよりにも、多くの学年で、この「まとめ」と「振り返り」のワードが使われていました。終業式までに各教室では、個人や学級のめあての振り返りが行われることでしょう。

12月のスタート集会では、この「ふりかえる」をテーマに話をしました。

まず、なぜ節目の時期に「ふりかえり」を行うか、問うてみました。私は、「よりよい姿に成長するために必要なステップだから」と考えています。では、なぜスタート集会で振り返るのでしょうか。それは、残されている17日間でも、改善し「よりよく」することができるからです。

そこで、大宮小学校の全校児童に振り返ってほしいこととして、以下の2つのことを問いました。

1 ○○○、あいさつ していますか？

これは、「相手を大切にする子」を育てるために、宮っ子委員会で力を入れている「あいさつ運動」に関わる項目です。気持ちのよいあいさつができる子が増えてきているものの、声をかけても返ってこない場合もあります。大宮小学校には多くの来校者があります。友達や教員にはもちろん、学校を訪れる全ての方にあいさつができる子供たちになってほしいと思っています。

○○○○に入るキーワードは「**進んで**」（低学年向け言葉）です。



2 ○○○○、発表していますか？

毎日、子供たちの授業の様子を参観しています。各教室では、課題に真剣に向かい学び合っている姿が見られます。学び合いに大切な要素はたくさんありますが、その中に「自分の考えをもつこと」と「考えを伝え合うこと」があります。発表は考えを伝え合う一つのツールです。

変化の予測が困難な時代を生きる子供たちは、他者と協働して課題を解決しなくてはなりません。そのためにも、コミュニケーション能力は必要です。各担任は、たとえ間違えても安心して自分の考えを伝えられる学級づくりをしていますので、勇気を出してほしいです。

○○○○に入るキーワードは、「**主体的に**」（高学年向け言葉）です。

「進んで」も「主体的」も、どちらも同じ意味です。これには、大宮小学校の子供たちが、今まで以上に主体的に行動できるようになってほしいという私の願いが込められています。また、このことは本校がめざしている8つの資質・能力として設定している「振り返る力」にもつながっています。ちなみに、本校の「振り返る力」の定義は、「**自分の学びを改善し、次につなげる**」です。

さっそく、20分休みや下校時、いつもより大きなあいさつが響いていました。本当にかわいらしいと思える大宮小学校の子供たちです。このような子供たちの姿に早速結び付いたのは、子供たちの「振り返る力」の高さと、担任の指導の成果であると捉えています。御家庭や地域でも子供たちのよい表れが見られましたら、是非ほめてあげてください。御協力をお願いいたします。

道徳コーナー ※今月は4年生の道徳の様子を紹介します。

今回は「気持ちの通い合い」という主題のもと、「温かい言葉」という資料で授業を行いました。相手の気持ちを考える大切さについて理解し、親切にするとときに大事にしたいことについて考えました。

(あらすじ)

お兄さんが足にギブスをはめた男の子に親かな言葉をかけたが、きっぱりと断られた。「ごめんよ。ぼうやがんばれ。」と優しく受け止める男性と、「ありがとう」と答える男の子。この2人のやりとりを見ていた主人公「ぼく」の気持ちが温かくなっていく。

- ・びっくりして思わずひどい言葉を言ってしまった。
- ・一人でも上がれるところを見せたかったんだ。

・ありがとう。お兄ちゃん。



<男の子> <お兄さん>

- ・がんばっているところをじゃましてごめんね。
- ・めいわくをかけてしまったんだね。

- ・階段で別れていく時、何だか楽しそう。
- ・笑顔でさよならできて、よかった。わかり合えたんだね。



<ぼく>

「男の子にことわられた時に、お兄さんが『ごめんよ。』を言えたのがよいと思う。」「ぼくは素直に言える2人みたいになりたい。」…男の子とお兄さん、お互いの立場になって話し合い、相手の気持ちに寄りそうことの大切さについて考えを深めました。

最後に、「親切にするとときにあなたが大事にしたいことは何でしょう。」と問い掛けました。何人かの子供たちの意見を紹介します。

- ・困っている人がいたら助けるのがよいと思う。お兄さんのように温かな言葉を使いたい。
- ・私はほかほか言葉を大切にしたいと思った。そうすれば楽しい会話ができると思う。
- ・言葉のキャッチボールをして、相手の気持ちを少しでも分かり合うのが大事だと思った。
- ・相手の気持ちを温かくする言葉をかけてあげたり、相手がうれしくなるような行動をとったりすることを大事にすればよいと思った。

♪ 響け 金管の音色 ♪

クラブの時間に活動を続けてきた金管クラブですが、部員減少で合奏が難しくなったため、今年度末でクラブ活動を終わることになりました。11月28日は、2年ぶりに行われた大宮地区社協三世代交流会開会式で、地域の方に聞いていただきました。また、11月30日と12月2日に体育館でミニコンサートを開きました。コンサートの最後に演奏した校歌では、音楽に合わせて児童が元気よく歌う姿が見られました。(大宮小ホームページも御覧ください。)



心がひとつに…“運動会”

11月13日に行われた運動会は、学年団ごとの競技となりました。係の仕事が6年生が立派に進めました。各学年、徒競走と学年種目に友達と力を合わせ、勝利目指して夢中になって取り組みました。他学年の競技結果が放送で流れると、校舎から歓声も聞こえてきました。結果は、2年連続白組優勝!

御家族の皆様には、様々な制約の中応援に来ていただきありがとうございました。

